



学校だより No.10
青森市立佃小学校
令和5年1月30日発行
◆教育目標◆
あかるく・かしこく・たくましく

全校児童数464名
男子 228名
女子 236名

読み聞かせ(語り聞かせ)の効果

校長 山田 彰利

令和5年が始まりました。今年もよろしくお願ひいたします。

毎週水曜日、朝の時間に、保護者と地域のボランティアスタッフによる読み聞かせ活動を行っています。かれこれ20年程度続いているそうです。この度その活動が評価され「東京子ども図書館」から青森市の読書活動グループ「お話はらっぱ」を通して、読み聞かせ用図書が寄贈を受けました。本校の図書ボランティアは、読み聞かせ以外に、月2回図書室や図書の整備を行うグループも有り、いずれも随時メンバー募集中です。興味のある方は、是非どうぞ。

さて、読み聞かせです。その最中の子供たちのキラキラした目は、是非ともご覧頂きたいものです。楽しいときには声を出して笑い、真剣なとき・悲しいときには教室が「し〜ん」となる。5年生6年生でもそうです。本やお話が大好きな佃の子です。



よく言われますが、読み聞かせ(語り聞かせ)には次の効果があるそうです。

- ① **学習能力が向上します。**多くの言葉や文字に触れることで言語能力が高まります。
- ② **創造力が豊かになります。**本のストーリーから様々なイメージをふくらませます。
- ③ **感情が豊かになります。**登場人物の心情を理解したり寄り添ったりしようとしています。
- ④ **コミュニケーション力が高まります。**登場人物の心情の変化と会話がモデルになります。
- ⑤ **集中力が増します。**じっと聞き入るという体験から、集中する経験値を高めます。
- ⑥ **自己肯定感が強まります。**その子の感想を大切にされることが自尊心を高めます。

私自身、はるか昔、小学校に入学する前、祖母の布団の中でよく昔話を聞いたものです。今思うと、はっきりしないところは祖母オリジナルの脚色だったようですが…。上の六つの力が付いたか定かではありません。ただ、楽しかったことは今でも覚えています。何よりもそれが大事なと。雪の夜に、ご家庭でもぜひ読み聞かせ・語り聞かせをどうぞ。

令和5年度 4月からの佃小学校 その1

市の方針・保護者や地域の皆様のご意見などを参考に、来年度の教育計画について全教職員で冬休みから話し合いを続けて参りました。以下、来年度の取組についていくつかお知らせします。

- ① **二学期制を継続(教育委員会に申請中)**
 - ・ 長いスパンで子供の成長を捉えることから、じっくりと力を伸ばすことができます。また、7月や12月にも大きな行事を行うことが可能となります。保護者アンケートでも8割以上の方から肯定的なご意見をいただきました。
- ② **3学年以上で、一部教科担任制の継続**
 - ・ 専科教員や学年内での分担による一部教科担任制を継続します。子供たちを多面的に評価できますし、相談したり頼ったりする相手が複数でき、子供たちの学校生活に安心感をもたらします。保護者アンケートでも約9割の方から肯定的なご意見をいただきました。